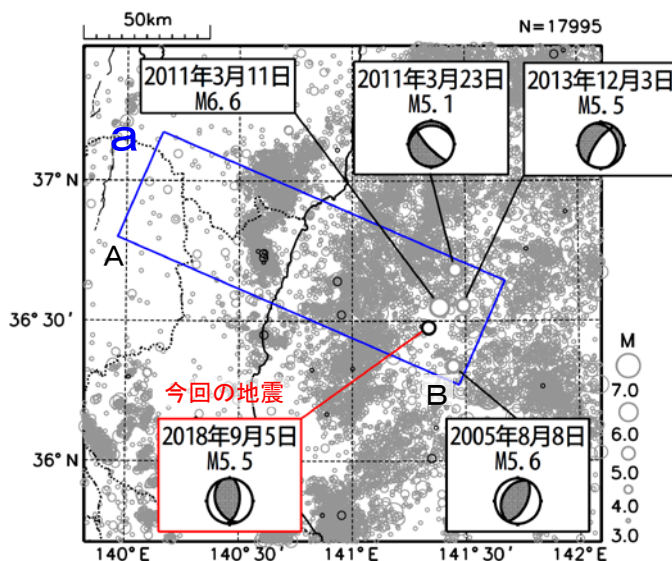


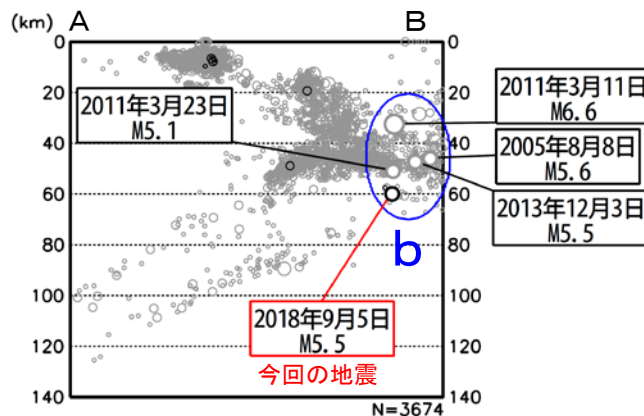
9月5日 茨城県沖の地震

震央分布図

(1997年10月1日～2018年9月30日、
深さ0～140km、 $M \geq 3.0$)
2018年9月の地震を濃く表示
図中の発震機構はCMT解



領域a内の断面図 (A-B投影)

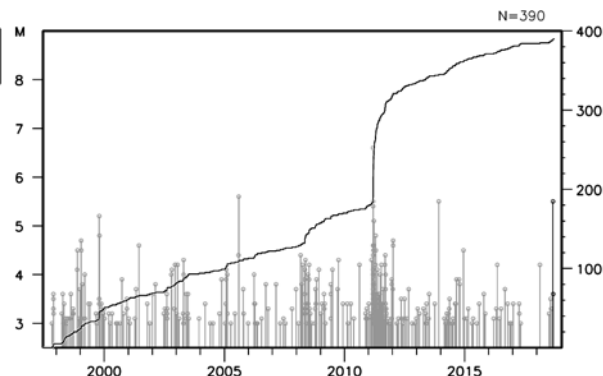


2018年9月5日05時11分に茨城県沖の深さ60kmでM5.5の地震 (最大震度4) が発生した。この地震は太平洋プレート内部で発生した。発震機構 (CMT解) は東西方向に圧力軸を持つ逆断層型であった。

1997年10月以降の活動をみると、今回の地震の震源周辺 (領域b) では、M5.0以上の地震が時々発生している。また、2011年3月11日にM6.6の地震 (最大震度4) が発生するなど、東北地方太平洋沖地震の発生以降、地震活動が一時的に活発となった。

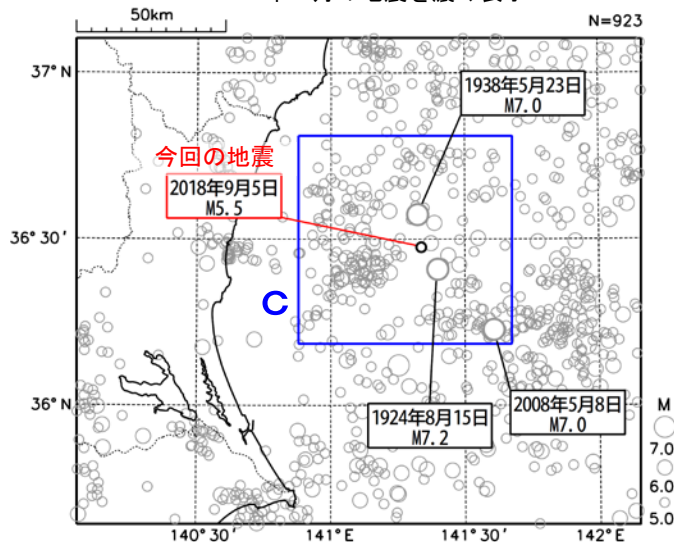
1923年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺 (領域c) では、M7.0以上の地震が3回発生している。このうち1938年5月23日に発生したM7.0の地震では、福島県小名浜で83cm (全振幅) の津波が観測された (「日本被害地震総覧」による)。

領域b内のM-T図及び回数積算図



震央分布図

(1923年1月1日～2018年9月30日、
深さ0～150km、 $M \geq 5.0$)
2018年9月の地震を濃く表示



領域c内のM-T図

